小松市立安宅中学校　学校だより

智仁勇

令和８年 11 月 NO.7
小松市立安宅中学校
校長　　山本　幸世

全員で盛り上がった！＜催し物＆吹奏楽ステージ＞

安宅中学校文化祭の午後は、会場内の人を楽しませるエンターテイメントが準備されていました。今年の催し物はレクレーション＆ステージ発表。レクレーションでは全校生徒が熱狂して盛り上がるクイズ。様々なジャンルからの出題や、見ているだけでも楽しい映像、そして敗者復活戦のおかげで会場は何度も沸きあがりました。そして厳しいオーディションを勝ち抜いたステージ発表。このステージ発表は、本来の学校以外で習い事として取り組んだり練習したりして活躍している人たちの表現の場として設定しているものですが、エレキギターの弾き語りを始め、３年男子有志のキレキレダンスや吹奏楽 OB のステージで盛り上がりました。文化祭の最後を締めるのは吹奏楽部のステージ。人数は減りましたが、その分一人一人が自分の音に責任をもって表現し、皆さんを楽しませてくれましたね。フィナーレの前には、音響の不具合で待機してもらう時間が生まれてしまいましたが、騒ぐことなく落ち着いて復旧を待ってくれたり、司会を中心にアドリブでつないでくれたりなど、臨機応変な対応に、頼もしさを感じました。

この文化祭を成功させるために、全校生徒が一人一役、人によっては何役も担って取り組んできました。これは特別なこと？いいえ、毎日の学校生活でも、皆さんはクラスや学年、学校のためにそれぞれ自分の役割を果たしています。いいクラス、いい学年、いい学校は誰かが作ってくれるのではなくて、一人一人が心がけることからできるのですから。１０年経っても色あせない宝物、目に見えない大切なものをみなさんで創り上げ、感じることができた一日でしたね。










ご来賓の皆様、そして保護者の皆様、たくさんのご来場を頂き、ありがとうございました。

堂々の演奏、小松市生徒音楽発表会

１１月６日（金）に小松市園十郎芸術劇場うららにおいて、生徒音楽発表会が開かれました。これは、小松市内にある９校の中学校と１校の義務教育学校の計１０校の代表が集まる学びの場です。各校の合唱コンクールにおいて厳しい審査を潜り抜け勝ち抜いた最優秀クラスまたは学年が一堂に会し、演奏を披露するものです。安宅中学校は３年生全員が学校代表として出演し、文化祭での演奏をはるかに超えた素晴らしい歌声を披露してくれました。美しい発声と重なり合うハーモニー、そこから生まれる一体感。これぞ最上級生にふさわしい、見事な演奏でした。学校紹介の中でも語られていましたが、９年間一緒に過ごした仲間と紡いだ絆が感じられる温かい歌声に、駆けつけてくれた保護者の皆さんも驚きの声を寄せてくれましたよ。形がないからこそ、感動は心に残るものです。３年生の皆さん、ありがとう！





万が一の時の為には日頃から　～小中合同避難訓

去る１０月２７日（火）、お向かいの安宅小学校全児童と合同で、津波垂直避難訓練を行いました。もしも平日に大きな地震が発生したら、本校生徒はもとより、小学生の皆さんも全員が安宅中学校の屋上に避難することになります。安宅中には元々エレベーターがありませんが、停電の設定で行ったので、低学年の子供たちが中学校の階段を４階まで上がるのはとても大変だったと思います。また、思った以上に屋上出口の段差が大きかったり、吹きさらしの屋外だから声が聴きとりにくかったりと、やってみて気づくことがたくさんありました。もしもの時に備えるために、今日見つけた課題を活かしていきましょう。安宅小の皆さん、ご協力ありがとうございました。





